

夏学 2023 実施報告書

開催日	2023年8月6日(日)
開催時間	13:00~16:25
名称	女子中高生夏の学校 2023 科学・技術・人との出会い
主催者	NPO 法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト
開催場所	独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)研修棟
行事概要 (100文字程度)	今年の夏学は、2泊3日、参加概数300名(内、生徒100名、大学生TA30名、団体120名、実行委員30名)、4年ぶりの対面開催だった。2日目の「ポスター展示・キャリア相談」「進学&キャリア相談カフェ」にて、参加者へ理工系の進路や技術士の魅力を伝えた。
参加人数	委員4名 委員補佐3名 計7名 ※内、委員1名・委員補佐1名が夏学事務局スタッフとして参加

実施内容

<概要>

■「ポスター展示・キャリア相談」13:00~15:00

・技術士資格、各部門の説明、試験制度等について説明をおこなった。特に、どのように技術士資格を取得するのかについて関心が高かった。第1次試験は学生でも受験できること、JABEE認定プログラムを修了することで第1次試験合格と同等となることなどを話すと、参加者は受験への前向きな姿勢を見せてくれた。

・技術士を知っている・聞いたことがあるという参加者が多かった。過去の対面開催の際と比べると、技術士の知名度が確実に向上していることがわかった。

・今回は、情報、環境分野へ興味があるという参加者が多く見受けられた。現在さまざまな研究機関が情報発信をしているのでぜひ活用して欲しく、情報分野では情報処理学会が「ジュニア会員制度(会費が無料)」を実施していること、環境分野では国立環境研究所が高校生向けのコラムを発信していることを伝えた。

・「技術士の仕事はAIに代替されるか?」という質問もあり、日進月歩に変化していく新たな技術との関連を示していくことも必要であると認識した。

■「進学&キャリア相談カフェ」15:10~16:25

・留学希望者ブース:アメリカの大学に留学し、軍の衛生兵が野戦病院で使用する医療装置の開発チームに参加した経験を話した。英語は現地では前提であり、専門性のある勉強を目的とするのが良いと助言した。

・生物ブース:大学で生物専攻か情報専攻かを迷っている生徒があった。情報専攻希望の理由を聞くと、実現したいことがありスマホアプリを活用したいとのこと。そこで情報ではなく、実現したいことの専門性のある勉強を目的とするのが良いと助言した。さらに今の時代、情報技術の活用は、生物に限らず、どの専攻でも求められていることを伝えた。

■学生(TA)企画より(参考)

・2~3日目の学生(TA)が企画している「夢を形に ~未来予想図を作ろう~」にて将来の夢に「技術士」と書く参加者が出た。

■当日の写真

(次ページ以降)

ポスター展示・キャリア相談

ポスター展示



生徒と相談



学生・委員へ紹介



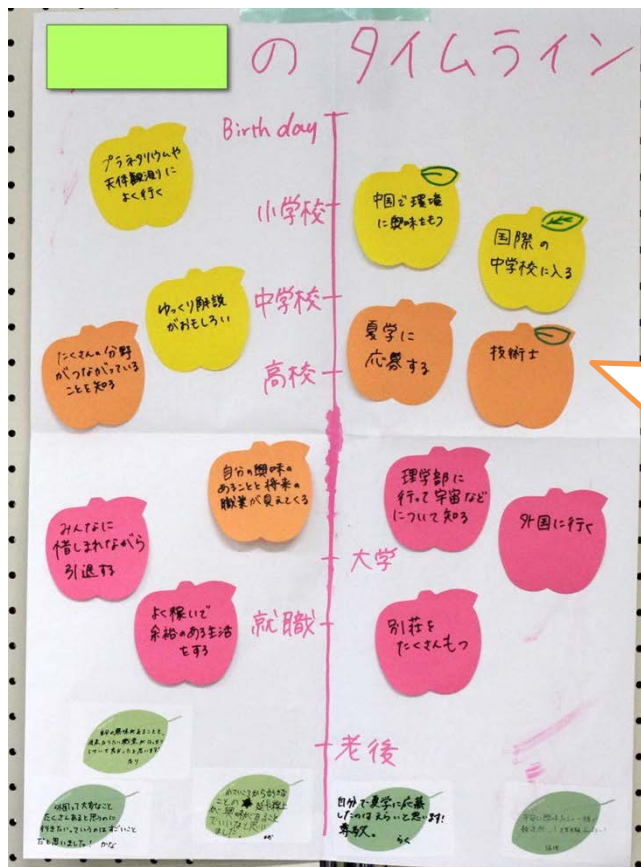
進学&キャリア相談カフェ



分野別に相談



夢を形に ~未来予想図を作ろう~



集合写真



以上